

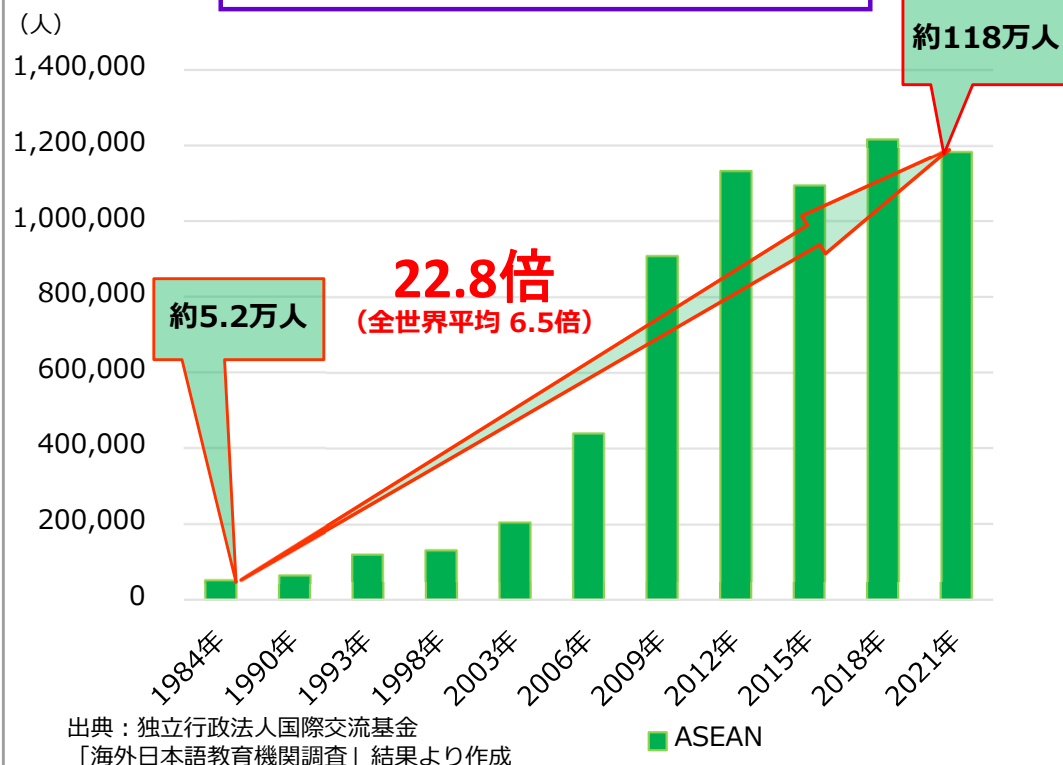
日本ASEAN友好協力50周年 ～人と人との交流～



1 日ASEANの多様な人的交流事業

ASEAN地域における日本語学習ニーズ

全世界平均増加率を上回る
ASEAN地域の日本語学習者数



カンボジアの学校における日本語の授業風景

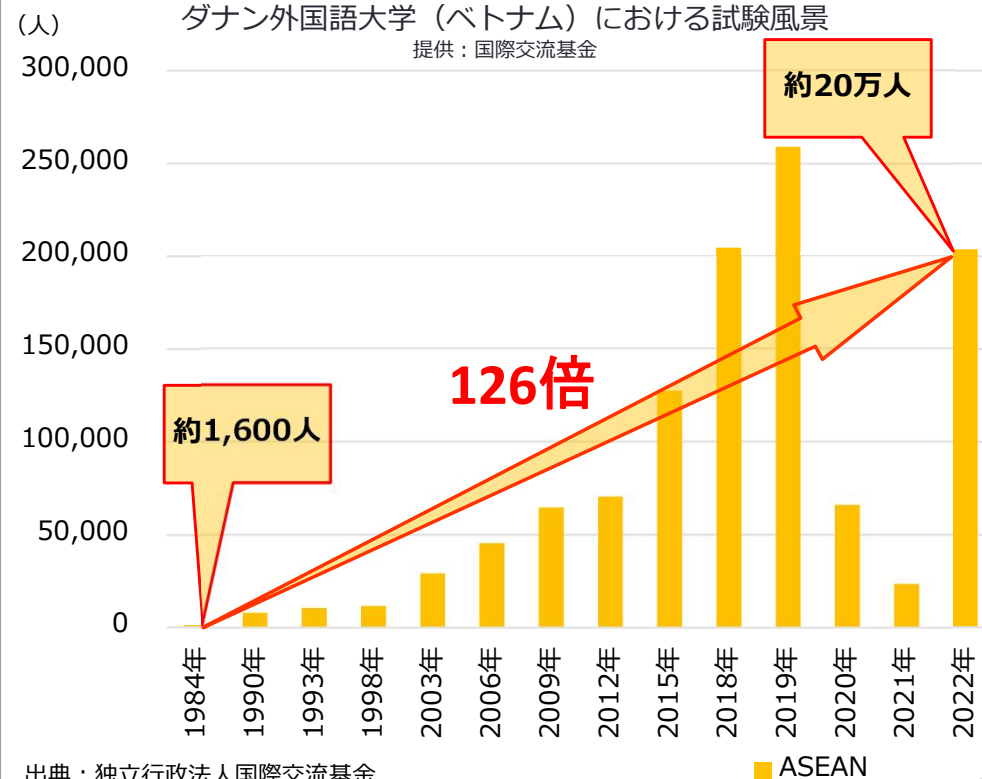
提供：国際交流基金

日本語能力試験（JLPT）
受験応募者数



ダナン外国語大学（ベトナム）における試験風景

提供：国際交流基金



日ASEANの多様な人的交流事業の実績

➤ 日本語パートナーズ

ASEAN各国の中学・高校などに日本人を派遣し、日本語授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うとともに、現地の言語や文化を学び、帰国後も各国との懸け橋として活躍

✓ **約3,000人を日本から現地の教育現場に派遣** (2014-2023年)



日本語パートナーズ（タイ）
提供：国際交流基金

➤ 無償資金協力「人材育成奨学計画」(JDS) (1999年度開始)
対象国において将来指導者層となることが期待される優秀な若手行政官等を日本の大学院に留学生として受入れ

✓ **約3,000人を受入れ** (2003-2023年)



日本語パートナーズ（タイ）
提供：国際交流基金

➤ 「東南アジア青年の船」事業 (1974年開始)

日本とASEAN諸国の青年が、各国を航海しながら生活を共にする中で、各国事情の紹介や討論をはじめとした各種交流活動を行う

✓ **6,310人の日本とASEAN諸国の青年が参加** (2003-2023年)



「東南アジア青年の船」事業 船内活動
提供：内閣府

日ASEANの多様な人的交流事業の実績

➤ JENESYS

日ASEANの青年を10日間程度招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化等の多様な分野における視察・体験・交流を実施し、日本の魅力を発信するとともに、帰国後のネットワークも強化

✓ **約47,000人が参加** (2007-2023年)



JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup
提供：JICE

➤ さくらサイエンスプログラム

諸外国・地域の青少年を我が国に招へいし、我が国の青少年との科学技術分野における交流を実施

✓ **14,980人が参加** (2014-2022年)



インドネシアの学生が持続可能な高度医療技術の現状と課題を学ぶ

➤ アジア高校生架け橋プロジェクト+

アジア諸国で日本語を学ぶ優秀な高校生を4か月から10か月程度、日本全国の高校に招へい

✓ **655人が参加** (2018-2023年)



アジア高校生架け橋プロジェクト
提供：(公財) AFS日本協会

➤ JICAによる技術協力 (1954年開始)

日本の技術・知識・経験を生かし、開発途上国の人材育成や制度づくりに協力。専門家やJICA海外協力隊の派遣・日本での研修などを通じて、開発途上国自らの問題解決能力の向上を支援

✓ **21万人以上が参加** (2003-2022年)



アセアン工学系高等教育ネットワーク(AUN/SEED-Net)の学生
提供：JICA

2 JENESYS元参加者の声

JENESYS（ASEAN地域）要人となった人物

2018年以降就任

国 名	役 職	就任年月	氏 名	参加当時のプログラム
ベトナム	国家主席（首相）	2023年 1月	Mr. Vo Van Thuong	JENESYS programme 「ベトナム若手政治家訪日団 招へい」（2011年招へい）
マレーシア	通信デジタル大臣	2022年 12月	Mr. Fahmi Fadzil	JENESYS programme 「東アジアクリエータ招へ い」（2011年～2012年招へ い）
東ティモール	公共事業大臣	2018年 6月 (~2022年3月)	Mr. Salvador Soares dos Reis Pires	JENESYS2016「テーマ：経 済」（2016年招へい）
東ティモール	公共事業副大臣	2018年 6月	Mr. Nicolau Lino Freitas Belo	JENESYS2.0「テーマ：ポッ プカルチャー」（2013年招へ い）
カンボジア	外務国際協力省副長官 (日本の次官級に相当)	2022年 12月	H.E Mr. Chann Rotana	JENESYS programme (2011年招へい)



ベトナム国家主席がホストファミリーを朝食会に招待



2023年11月29日、ベトナムのボー・ヴァン・トゥオン国家主席は、JENESYS参加時にお世話になったホストファミリーを赤坂迎賓館での朝食会に招待しました。トゥオン氏は2011年、JENESYS「ベトナム若手政治関係者訪日団」の団長として来日されました。この来日直後、当時、友好議員連盟の一員だった岸田文雄首相にもお会いになりました。その後訪れた秋田県仙北市では、劇団わらび座からソーラン節の踊りと太鼓の指導を受け、ホームステイも経験されています。今回の来日前、トゥオン氏は当時交流したホストファミリーや講師との再会を熱望され、それを受けたJICEがホストファミリーとの間を調整したところ、踊りの指導を担当した清家久美子さん、ホストファミリーの佐藤重光さん、郁子さんご夫妻が朝食会に招かれ、旧交を温めました。



ホストファミリー手作りのアルバムを見ながら
談笑するトゥオン国家主席と佐藤さんご夫妻

青少年交流の重要性を強調

和やかな雰囲気の中で開かれた朝食会では、トゥオン氏から青少年交流の重要性についての言及が何度もありました。今年は、日本とベトナムが外交関係を樹立して50周年となりますが、「今後、両国の結びつきを更に強固にするためにも青少年交流を発展すべきだ」と指摘されました。また、「将来は多くの日本の青少年にベトナムでホームステイを経験してもらいたい」という構想についてもお話になりました。



トゥオン国家主席が大切にされていたJENESYS
当時の写真。これを元に佐藤さんご夫妻を辿り、
今回の再会に繋がった(中央左がトゥオン国家主席)

日本への想いを日越両国の発展へ

今回招待された佐藤さんご夫妻、清家さんと会話する場面では、佐藤さんに雪道での歩き方を教わったこと、清家さんがお別れの時に泣いてくれたことなど、思い出話に花を咲かせ、トゥオン氏が当時のことを詳細に覚えていらっしゃるのことがわかりました。佐藤さんは当時の数々の思い出が詰まった写真をアルバムにまとめ、トゥオン氏に渡していました。この微笑ましい面会は日本・ベトナム両国のメディアで報道されましたが、特にベトナムでは大々的に取り上げられました。JENESYSの参加者が一国の指導者になることは、青少年交流の大きな可能性を示しています。日本に特別な感情を抱くベトナムの国家主席が日越両国間やアジア地域に発展と安定をもたらすことを期待します。



清家さんとの記念撮影

日本の交通インフラの素晴らしさを伝えたい

私はフィリピン大学の職員ですが、上司の許可を得て、現在、政策研究大学院大学（GRIPS）に留学しています。フィリピン大学では主に政府関係者を対象にした様々な政策に関する研修のカリキュラム作成から実施運営までを担当していました。GRIPSの授業はとても厳しいですが、いろいろな国から来た行政官や職員など様々なバックグラウンドを持つ学生と一緒に過ごし、ネットワークを広げることができて、とても充実しています。

交通インフラは国にとっての「血管」。血液がうまく流れることで、人の臓器も正常に機能しますよね。しかし、フィリピンの交通はまだまだ血管が詰まっているような状態です。そのため、フィリピンは日本の交通からたくさん学ぶ必要があります。参加したJENESYSのプログラムは、まさに「交通」がテーマでした。



参加時にリニアモーターカーの関連施設を見学しましたが、施設は今もまだ開業していませんね。ですがそれは、日本が安全性や信頼性をきちんと確かめているからだと思います。

インドネシアで中国の高速鉄道が開業しましたが、将来的にその質や安全性はどうでしょう？ 日本の交通インフラは質、安全性、信頼性がとても素晴らしい。このときの経験が、いまの私の交通政策の研究につながっているのです。



ジョイ・レイエス・ロリストさん
(フィリピン)

政策研究大学院大学（GRIPS）
修士課程（公共政策）在籍中
GRIPS留学生会（ISC）会長
2016年度 JENESYS参加者（経済）
※参加当時 大学院生

JENESYSが日本をさらに知るきっかけに

JENESYSに参加する前は、例えるなら家（日本のこと）を外から見ているような状態でした。実際に扉を開けて中に入ると、中に何があるのかもっと知りたくなる。短期間日本を体験し、もっと日本を知りたくなったんです。

実は、私は韓国の大学院への留学が決まっていたのですが、新型コロナウイルスの影響で授業がオンラインのみになってしまい、他の留学先を探すことにしました。その時、運よく国費留学生としてGRIPSに留学できることになり、これは日本に留学するのが運命だと思いました。JENESYSの経験も合格に役立ちました。



卒業後は学びを国に還元

GRIPSを卒業したら、日本で学んだことを母国に還元するつもりです。まずは、フィリピンの交通政策を担う行政官に日本の交通インフラの素晴らしさを知って欲しいと思っています。私の交通政策の研究を政策づくりに役立ててもらい、将来、フィリピンの交通に貢献できる人材になりたいです。

JENESYSの経験から日本留学のきっかけをもらいました



私が大学2年生の時、JENESYSを知り応募しました。当時は日本についてそこまで深い知識はありませんでしたが、来日して様々な体験をさせてもらい、そこから日本に強い関心を抱くようになりました。特にホームステイでは日本の家庭を体験し、お風呂の使い方を教わって、お母さん手作りの日本食を食べ、日本にとっても親しみを覚えるようになりました。

JENESYSで初来日したちょうど一か月後に、再来日する機会に恵まれました。日本の外務省が国際法学会と共催する国際法模擬裁判「アジアカップ2014」に参加できたことになったのです。アジア諸国の学生が集結し「投資紛争」をテーマに各チームが弁論を競いました。私たちは惜しくも優勝は逃しましたが、若い学生だった自分にとって、とても良い経験になりました。

数ある選択肢から、迷いなく日本留学を希望

大学卒業後はベトナム外務省に入職し、法制局に配属されました。外務省の職員には、ドナー国から数多くの留学オファーがあります。しかし、私はJENESYSの経験から迷わず日本を志望しました。また、日本には国際海洋法の権威である東北大学の西本健太郎教授がいらっしゃいました。望みが叶い、現在はJDS生として、西本先生の下で研究中です。修士論文では、南シナ海での国際法廷事例を用い、暫定措置規定の緊急性について執筆しています。法の支配、航行の自由を提唱する「自由で開かれたインド太平洋」に通じる重要な課題と考えています。



ドアン・フオン・マイさん（ベトナム）

東北大学法科大学院 修士課程在籍中

ベトナム外務省法務局 法務官

2014年度 JENESYS2.0 参加者（ソーシャルコミュニティ）
（JENESYS参加当時大学生）

在京ベトナム大使館で勤務できたら

2022年9月に東北大学大学院で修士号を取得したら、ベトナム外務省へ戻ります。日本に直接関わりのある東アジア局もありますが、法制局でも日本人と関わることがあるので、引き続き同局で留学で得た国際海洋法の知識を活かしたいと思います。

そしていつか在京ベトナム大使館に勤務し、日越間の外交に貢献できたら最高に嬉しいです。

JENESYSがもたらしてくれた憧れの国への訪問



サボネ・ヴェンタさん（カンボジア）

キリヴォン・ソクセン・チェイFC ヘッドコーチ
2018年度 JENESYS参加者(サッカー)
(JENESYS参加当時 クラブディレクター)

この1月から、カンボジアのプロクラブ、キリヴォン・SSC・FCでヘッドコーチに就任しました。2018年にJENESYSに参加した時、日本で鹿島アントラーズのプロの試合を初めて観戦し、とても興奮したのを覚えています。3月だったのでとても寒かったのですが、それさえもカンボジア生まれの私には嬉しい経験で、今でも忘れられません。



私は大変貧しい環境で育ちました。幼い頃は学校に行けず、お寺の窓に耳をそばだてて講義を聞いたり、拾った本で勉強したりしました。努力を重ねて進学したので、教育が人生を変えると強く思っています。高校で日本の歴史を学んだ時、小さい島国なのに、なぜこんなに成功しているのだろーと思いました。そんな憧れの国にJENESYSで訪問でき、サッカーというスポーツがもたらしてくれた機会に、改めて感謝しました。現在、チームは湘南ベルマーレとパートナーシップを締結し、昨年にはお互いの国を行き来し、交流試合を行っています。私は日本のサムライ精神から多く学び、献身・鍛錬・敬意の3つを大切に、サッカーに取り組んでいます。日本人からも「君は日本人みたいだ」とからかわれる程です。

本田圭佑氏の貢献に感謝

カンボジア代表のGM・監督を引き受けけてくれた本田圭佑氏の多大な貢献に心からの敬意を表します。日本人はカンボジアの事をあまり知りません。でも今は、彼のファンがカンボジアを知ろうとしてくれています。本田氏は努力する若い選手に、練習の段階から真のプロになる道筋や心構えを示してくれました。そこにとても感謝しています。



史上最年少のヘッドコーチに就任

前職ではカンボジアのトップクラブ(Boeung Ket Football Club Academy)でディレクターを務めていました。私はまだ若い、それでもヘッドコーチに挑戦したみたかったのです。正式な面接と試験を経て、この1月からカンボジア・プレミアリーグ、キリヴォン・ソクセン・チェイFCで最年少のヘッドコーチに就任しました。ヘッドコーチは他国との交流もあるので、英語も流暢でなくてはなりません。これからも自分自身への学習と向上心を忘れずに、サッカー界に貢献していきたいです。

JENESYSへの参加は夢を達成する入り口でした

ペッチ・ソパニさん（カンボジア）

立命館大学大学院国際関係研究科 修士課程在籍中
カンボジア外務国際協力省東アジア局 事務局次長
2016年度 JENESYS参加者(若手行政官交流)
(JENESYS参加当時大学生)

現在、JDS留学生として、立命館大学大学院で学んでいます。
入学当初は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で来
日が間に合いませんでした。それでも、日本政府を始め多くの
方々のご協力により、無事に来日を果たすことができました。



JENESYSがきっかけとなり、自ら叶えた日本留学

大学在学中にJENESYSを知り、すぐさま応募しました。私が参加した訪日団は「政治」がテーマだったので、外務省を始めとする日本の官公庁を訪問することができました。日本滞在中の思い出も去ることながら、JENESYSに参加するために学内で難しい選抜に合格したことや、帰国後に母校で日本についてのプレゼンを行ったことも、全てが良い経験となりました。

私自身、元々、カンボジア外務国際協力省での仕事を希望していましたが、同時に日本への留学も憧れとなりました。国費外国人留学生制度では合格に至りませんでしたが、日本政府が若手官僚の留学を支援していることを知り、JDSにも応募しました。幸運にも合格をいただき、私の夢である日本留学がようやく叶いました。JENESYSはまさに私の夢の入り口だったのです。同じような夢を追いかけている学生がいれば、まずは何にでもトライすることが大事だと伝えたいです。



外務省で責任あるポジションを目指します

帰国後は外務国際協力省東アジア局に戻り、韓国担当になると聞いています。ただ、もしかするとこの留学経験のお陰で、日本を担当できるかもしれないと期待を抱いています。

同じ外務国際協力省からJDS生として来日した先輩のフン・ソティアロット（現メコン協力部副チーフ）は、日本の外務省でインターンも経験され、現在カンボジアで活躍しています。私も、日本で学んだ専門知識を活かして所属先で活躍し、将来的には責任あるポジションに就きたいと思っています。

3 ASEAN元日本留学生評議会

ASCOJA

(ASEAN Council of Japan (ASEAN元日本留学生評議会))

令和5年12月
外務省人物交流室

- ーASEAN各国の元日本留学生会(10か国10団体)の連合体組織。
- ー1974年、福田赳夫蔵相(当時)の呼びかけで「東南アジア元日本留学者の集い」が開始され、この「集い」で交流を深めた参加者たちが中心となり、1977年6月に設立された。
- ー各国帰国留学生会が1年ごとに持ち回りで議長国を務め、総会やシンポジウムを開催。
- ーインドネシア国会副議長、ラオス教育スポーツ大臣等、現役のASEAN各国要人も多数所属。

参加国(ASEAN10か国)及び各国協会会員数(計53,038名(2023年1月時点))

フィリピン(20,941名)、マレーシア(12,742名)、タイ(7,706名)、インドネシア(4,996名)、ミャンマー(3,572名)、ベトナム(2,500名)、カンボジア(1,250名)、ラオス(500名)、シンガポール(461名)、ブルネイ(37名)

第27回ASCOJA総会

- ・毎年ASEAN各国の元日本留学生会が持ち回りで開催。各国から元日本留学生が集い、日ASEAN関係強化などにつき議論。
- ・直近では、2023年7月8日に第27回総会がインドネシア・ジャカルタにおいて、「質の高い生活のためのSDGsにおける日・ASEAN協力」をテーマに開催され、日本からは武井外務副大臣が出席。また、福田康夫元総理、鈴木俊一ASCOJA・アスジャ議連会長、岸田総理、林外務大臣、永岡文科大臣が祝賀メッセージを寄せた。さらに、クロージングイベントには福田達夫ASCOJA・アスジャ議連事務局長が出席。



ASEAN10か国の元日本留学生による記念撮影(第27回ASCOJA総会)



ASCOJA関係者による岸田総理表敬(2023年11月24日)

ASCOJA所属著名人(現職は★印)



インドネシア元日本留学生協会

★ラフマツ・ゴーベル 国会副議長
 ユスロン・イザ・マヘンドラ パナソニック・ゴーベルグループ会長
 元駐日大使



カンボジア元日本留学生協会

メイ・カリヤン 元王立プノンペン大学理事長
 ★チェット・チアリー 王立プノンペン大学学長



シンガポール留日大学卒業生協会

★チョン・トー・チョン シンガポールデザイン工科大学学長
 ★リム・コク・キアン ニーアン・ポリテクニク校長・CEO



タイ元日本留学生協会

★シントーン・ラーピセートパン 駐日本大使
 タノン・ピタヤ 元大蔵相、元タイ国際航空会長
 タリサー・ワタナゲート 元タイ中央銀行総裁



フィリピン元日本留学生連盟

★カルラ・B・ディマランタ フィリピン大学副学長
 ★ロジェル・マリ・セセ 宇宙物理学者



ブルネイ元日本留学生会

ペンギラン・ユソフ(故人) 元首相
 ★チン・ウェイ・ケ 教育省副次官



マレーシア元留日学生協会

★ゴー・ペン・ウィー シルバーレイクグループ創業者、会長
 ★リム・ペン・ジン サイエントックス社代表取締役



ミャンマー元日本留学生協会

チョー・チョー・カウン 元東ヤンゴン大学学長
 テットン(故人) 元駐仏・ミャンマー大使



ベトナム元日本留学生協会

ギエム・ヴ・カイ 元科学技術副大臣
 グエン・ゴック・ビン 元ハノイ国家大学技術科学大学学長
 ゴ・ミン・トウイ 文化言語教育学際研究所所長
 越日友好協会副会長



ラオス元日本留学生会

★プット・シンマラヴォン 教育スポーツ大臣
 ★ブンフェン・プムマライシット ラオス日本友好協会会長
 ★アンパイ・チットマーノン 保健大臣
 国民議会法務副委員長
 ラオス日本友好議連副会長